

3 3 7 D地区G S T委員会 活動計画

(グローバル・奉仕・チーム)

2020～2021年

G S T委員長 竹下 洋司

1. 奉仕の拡大 (新しい事業の発見)

- ① 人道支援マッチング交付金 (大規模な人道奉仕事業を対象)
- ② 地区及びクラブシェアリング交付金 (幅広い活用ができる)

※上記交付金事業を計画される場合必ずキャビネットを通じ

地区コーディネーターに事前相談して下さい。

2. 献血推進活動

- ① 各クラブ年間2回以上の実施と前期以上の実績確保
- ② 鹿児島R、沖縄Rで行われる「献血セミナー」への積極的参加
- ③ 若年層の献血啓発活動 (例：大学等での実施)

3. 献眼推進活動

- ① 鹿児島Rでは、鹿児島県移植医療アイバンク推進協会からの依頼で
「移植角膜用スペキュラーマイクロスコープ」贈呈検討中です。
- ② 2020年アイバンク運動推進協議会全国大会 (鹿児島大会)

2021年予定 (今期準備計画)

4. 小児がん支援

- ① ヘアドネーションの推進（髪を失った子供の医療用ウィッグ(かつら)）
- ② レモネードスタンド（沖縄R，毎年実施）小児がん治療研究所支援の
募金活動

5. 「My Lion」

- ① 各クラブアクティビティの報告を必ず実行してください。
- ② My Lionのアプリの活用を推奨し、奉仕事業への参加をお願いします。

6. ライオンズ奉仕デー

毎年10月8日、世界ライオンズ奉仕デーとされています。

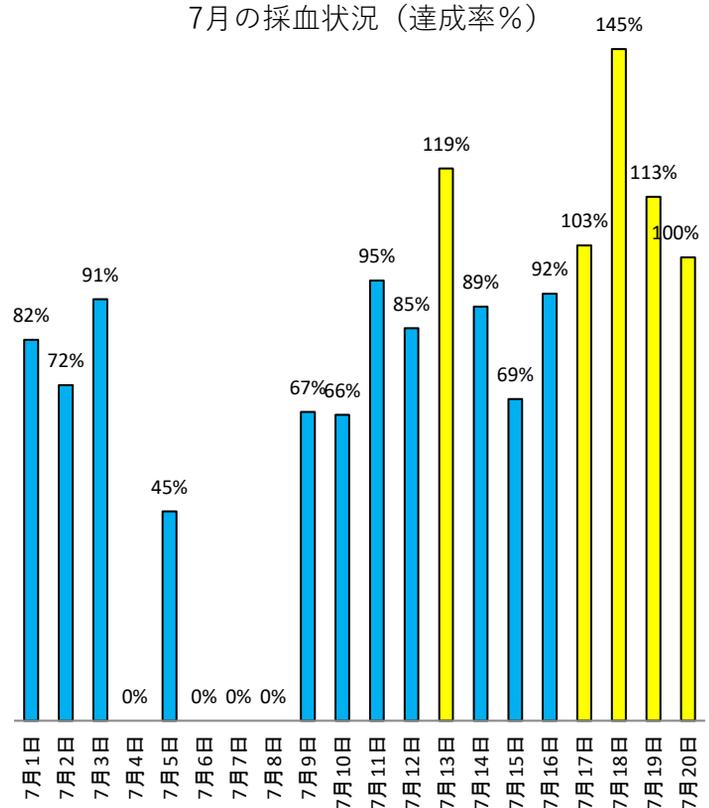
各クラブ当日の奉仕活動を計画して下さい。

大雨や新型コロナウイルス感染拡大により 献血中止が相次いでいます

7月に入り、連日の大雨と県内における新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、献血中止や延期が相次いでいます。

日本では、1日約3,000人が輸血を必要としており、絶えず献血のご協力を必要としています。しかしながら、県内でクラスターが確認された日の翌週には、約865人分にあたる県内18会場での献血が中止となり、**計画の約70%の採血しかできていない状況です（7/20末日時点）**。より一層の献血へのご協力をお願い致します。

7月の採血状況（達成率%）



感染防止（3密対策）に努めながら献血実施中

【献血協力者に対する主な対策】

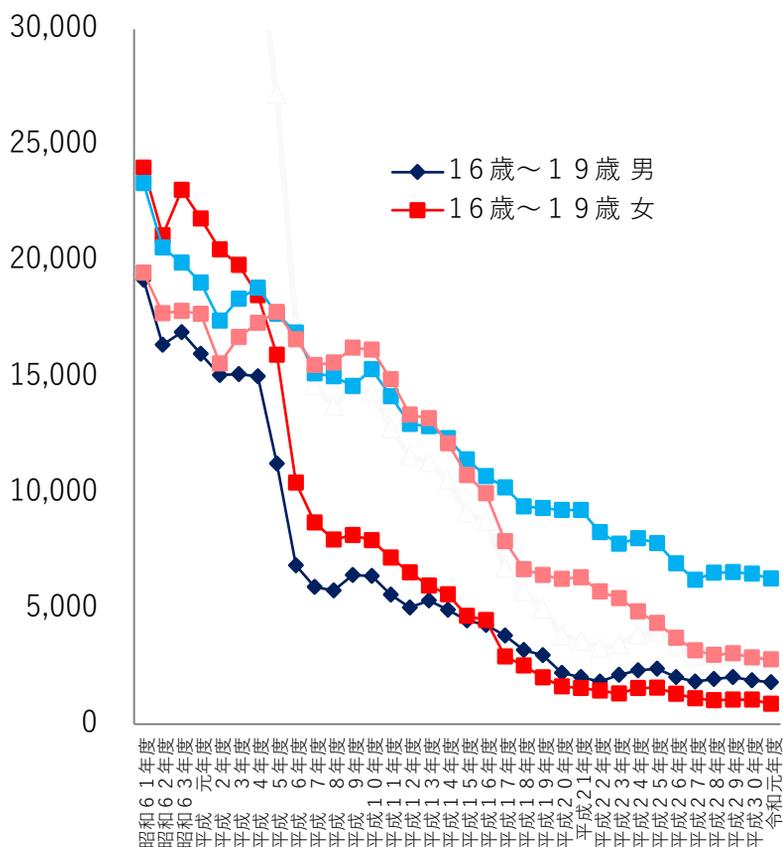
- * 献血バス及び使用機器の定期的なアルコール消毒 * 献血会場来場者への体温測定の実施
- * 味覚・嗅覚に関する問診を追加 * 献血会場入場時および献血バス乗車時の手指消毒の徹底
- * 採血看護師の手袋着用（献血者毎に交換） * 来場者皆様にマスク着用をお願い
- * ソーシャルディスタンス（対人距離）を保てるようスペースを確保

【職員の主な対策】

- * 勤務スタッフの出勤前・出勤時における体温測定の徹底
- * 味覚・嗅覚の異常確認、定期的な手指消毒とマスク着用

若い方への献血啓発が今後の課題

男女別若年層献血者数の推移（人）



持続可能な輸血医療のためには若い方の献血が不可欠です。

血液センターでは若者に人気のキャンペーンキャラクターを起用した献血啓発をはじめ、献血ボランティアの学生と協力した献血啓発の実施など、若年層（10代から30代）の献血者確保に取り組んでいますが、少子高齢化の進行や教育指導要領の改訂による授業カリキュラムの変更等の影響により厳しい状況が続いています。

ライオンズクラブ様より学生さんに記念品をプレゼント

令和元年度	学校名	実施回数	協力人数
鹿児島市	鹿児島大学（本学）	14	552
	鹿児島大学（医学部）	1	6
	鹿児島国際大学	4	153
	志学館大学	2	108
	鹿児島女子短期大学	1	46
	鹿児島県立短期大学	2	36
霧島市	第一工業大学	4	118
鹿屋市	鹿屋体育大学	3	91

学生さんも喜んでいました！

